
令和7年度第2回東海村男女共同参画推進委員会（会議録）

1 日 時 令和7年6月26日（木） 18:30～20:00

2 場 所 石神コミュニティセンター 会議室

3 出席者

▼東海村男女共同参画推進委員会 6名 欠席：佐藤委員，田川委員

▼池田村民生活部長

▼村民活動支援課 4名

4 あいさつ（池田村民生活部長）

- ・本日は，第2回男女共同参画推進委員会にお集まりいただき感謝する。また，委員の皆様には，日頃から本村の男女共同参画，女性活躍推進に御理解・御協力いただき感謝する。
- ・前回の会議では，村長より次期男女共同参画行動計画の策定について，諮問したところだが，今回の会議では，現行動計画の総括と第6次男女共同参画行動計画の構成案について御審議いただく。特に，2つ目の第6次行動計画の構成案につきましては，昨年実施した住民意識調査で，「計画の内容を知っている」と答えた方の割合が大変低かった（目標40%に対して実績5%）こともあり，第6次行動計画は皆さんにもっと知っていただき，身近に感じていただける計画を策定したいと考えている。
- ・先月，全課の代表職員で構成する庁内連絡会議でグループワークを行い，庁内の意見を集約しているので，そちらも参考に，皆様からの忌憚のないご意見をいただければと思う。

男女共同参画推進委員 高橋委員長

- ・お忙しい中お集まりいただき感謝する。先ほど池田部長からあったが，本日は第5次の取り組みを検証して，次の第6次に向けて議論していきたい。積極的なご意見をお願いしたい。

5 議事（進行：高橋委員長）

（1）第5次東海村男女共同参画行動計画の総括（案）について・・・資料1，資料2

資料について事務局から説明を行い，質疑応答・意見交換。

（主な意見） ⇒：事務局回答

- ・基本目標Ⅲ（4）子宮頸がん検診の受診率について，令和2年度の実績値は35%で，令和6年度実績値は（人口比）19%とある。この数値の見方が分からない。算出方法が変わったのなら，その旨を記載してほしい。

⇒担当課に確認し，修正もしくは追記したい。

担当課に確認した内容は次のとおり。令和２年度の実績値３５％の算出方法は不明である。人口比と申込比については、令和６年度に受診方法が変更されたことに伴い、申込比を算出しなくなった。

- ・基本目標Ⅲ（４）子宮頸がん検診の受診率について、婦人科検診の施設検診をネットで予約できるようにしてほしい。医療機関ごとの空き状況が分かると受診につながると考える。

⇒担当課に伝える。

- ・基本目標Ⅲ（３）女性向け健康講座への参加者について、目標値が７２０名に対しての結果が４年間で延べ２９７名は少ないと思う。講座の年齢制限があるのがあり、参加者が少なくなっていると思う。

⇒この項目に限らず、目標値が高い項目が多く、目標値の検討が必要であると考えている。

- ・基本目標Ⅰ（３）「学校教育の場において男女の地位が平等だと感じている人の割合」が５６．１％であるが、「家庭において男女の地位が平等だと感じている人の割合」は１４．９％で、子どもと大人では感じ方が全然違うと認識した。
- ・男女共同参画推進事業自体の周知が不足していると感じる。子どもが学校で配布されたチラシを見たが、読んだだけでは分からない。何かのイベントとコラボしていったら周知されると考える。男女共同参画推進に係る事業の名称は、漢字や熟語が多く、もう少し親しみやすさがあればよいと思う。
- ・全体的に目標値には届かなかったが、令和２年度の状況よりは良くなっていると認識している。

（２）第６次東海村男女共同参画推進行動計画の構成案について・・・資料３，資料４
資料について事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換。

（主な意見） ⇒：事務局回答

- ・目標Ⅱの「配偶者等暴力被害者」について、パートナーは含まれないのか。「配偶者もしくはパートナー」or「パートナー」にした方がよいと思う。

⇒配偶者等の等に含まれている。

- ・目標Ⅰには「人権の尊重と男女平等意識の形成」と表記されており、「人権の尊重」と表記しているにもかかわらず、すぐに男女で分けしている感じがし、引くかかる。

⇒男女共同参画の法律に基づく計画であり、男女という言葉を使いがちではあるが、東海村独自の計画という位置づけでもあるので、意見として参考にさせていただきたい。

- ・資料４の役場のグループワークはすごくよいと思う。消防・防災についての記述があり、それを目標にも反映しており、よい流れだと思う。

- ・子育て支援は目標Ⅲに含まれるのか。それとも目標Ⅴとして独立させるのか。

⇒目標Ⅲに子育て支援を含めていくのか、目標Ⅴにするのか検討したい。

・男女共同参画推進事業の認知度も大切だが、売名行為に走りすぎてほしくない。皆が知っている子育て支援に結び付ければ、男女共同参画事業の認知度も上がるのではないか。ただ、認知度を上げることよりも住民の悩み等を行政と繋がって改善できる仕組み作りのほうが大切だと考える。時代の変化によって必要となる施策も異なるだろうから、そうした具体的な施策について、事務局で検討してほしい。

⇒具体的な取り組みについては、今後、各課に調査を予定している。第5次の取り組みを継続するのか、廃止するのか、新規で取り組みを始めるのか等を各課から出してもらいたいと考えている。それを目標Ⅰ～Ⅳの下に具体的施策として載せていきたい。

・地域幸福度について、男女共同参画推進事業に関係するのは、「多様性と寛容性」だけか。

⇒男女共同参画推進事業を進めることで、「子育て」や「健康状態」といった分野も向上すると考える。そうしたカテゴリも指標の一つとして捉えたい。

・男女共同参画推進事業を推進することで、他の指標が上がることは分かるが、この会議は男女共同参画を主軸として開催しているそこを軸として掘り下げないと、收拾がつかなくなる。

⇒地域幸福度（Well-being）指標を用いた数値目標は、中長期的な目標なので、計画に基づく個別な取り組みの数値目標も必要だと考えている。現状の第5次行動計画は、活動量に対する数値目標がほとんどで、目標が達成できなかったという結果しか残らないが、計画期間の5年間に事業を実施し終えたときに、社会全体がどう変化したかを見る一つの指標として、地域幸福度（Well-being）指標を使いたいと考えている。また、男女共同参画分野は、国や県も計画を策定し、政策を展開している。そのような中で、国や県と同じことをするだけではなく、東海村は何に重点的に取り組んでいけばいいのかを考えていきたい。例えば、これまで取り組んだ独自の取り組みとしては、20年以上続いているハーモニー東海や推進事業所の認定、令和5年度に実施した事業所との共同研究（鈴木ハーブ研究所の親子出勤）などがある。

・「DV相談窓口があることを知っている人の割合を増やす」という項目は、他にはない取り組みとしてもっと推し進めていくとよいと思う。

・庁内で男女共同参画についての話し合いをしたということだが、そもそも社会全体の男女の地位が平等だと感じている人の割合が低すぎるので、それについて地域戦略課の事業でテーマにして中高生に話し合ってもらうのがよいと思った。第5次行動では、子どもの頃からの認識を強めるとあったが、こうした取り組みは継続しないと成果が得られないので、継続してもらいたい。

6 その他

●次回の委員会について

第2回男女共同参画推進委員会は8～9月に開催予定。議事録は、委員へメールで配信し、確認後に村公式ホームページに掲載する。